

木村太郎 きむら たろう フランス文學翻譯家。明治二十二年四月二十九日東京
 生れ（一八九一）。大正十二年東京帝國大學文學部佛文學科卒。法政大學、
 南山大學各教授歴任。

譯書、コルネイエ作『ポポリウクト』（昭和二年八月十五日岩波書店
 「岩波文庫」）、レオン・パゼス著『日本廿六聖人殉教記』（松崎實
 共校註、昭和八年十二月二十日岩波書店）、サン・ピエール作『ポオ
 ルとヴェルジニイ』（昭和九年九月十五日、改譯・二十二年五月二十
 日岩波書店「岩波文庫」）、スウヴェストル作『屋根裏の哲人』（昭
 和十年九月十五日岩波書店「岩波文庫」）、ジヨルジュ・デュヤメル
 作『犧牲』（昭和十年十一月二日白水社）、ガルジエ作『大戦と女た
 ちーラザリイヌ』（昭和十四年十月六日、再刊『大戦と女たち』二十
 七年十一月二十日春陽堂書店）、同『愛』（昭和十四年十一月十五日
 春陽堂書店）、同『死の意味』（昭和十五年二月二日春陽堂書店）、
 フランソワ・モオリヤック作『エヌ・エル・エフ小説集』（共譯、昭和
 アンドレ・テリエザ 他作『エヌ・エル・エフ小説集』（共譯、昭和
 十五年十一月二十日青木書店）、ポヤック・リザイエール 著『信仰へ
 の苦悶』（昭和十七年九月十日甲島書林「現代カトリック文藝叢書」）、
 ポール・ブルジエ作『死』（昭和二十六年一月二十日小山書店）、ベ
 ルナノス作『田舎司祭の日記』（昭和二十七年一月二十日新潮社「新
 潮文庫」）、ポールシエ作『死』（昭和二十七年五月十五日新潮社
 「新潮文庫」）、ヴァン・デル・メールシエ作『人間を渡るもの』あま（越
 知保夫共譯、昭和二十九年二月一日法政大學出版局）、ベルナノス作
 『惡魔の陽の下』』（昭和二十九年四月五日新潮社「現代フランス文
 藝叢書」）等。

著書目録の(一) (公著・親撰又は藝術編、大正十二年十一月二十五日改
 造刊)、短篇隨筆集『死生』(昭和十五年六月) 千五百春陽堂書店)、
 『詩の信託』(昭和二十四年一月十日大阪・公教社)等。

